

協働学習支援ツールを活用して、 自分が伝えたいことを分かりやすく表現する学習

第2学年 | みんなで つかう まちの しせつ

こんな子どもたちの姿が生まれました！

- 図書館や役場への取材を通して、気付いたことや疑問に思ったことを写真で提示し、分かりやすく仲間に伝えることができました。
- 図書館や役場で働く人のインタビューを聞いて、自分たちの生活を支えている人がいることに気付くことができました。

協働学習支援ツールの活用による効果



町探検で撮影した写真をもとに、自分の一番伝えたい内容を仲間に分かりやすく伝える。

- ・町探検で撮影した写真の中から、自分の伝えたい内容に合う写真を1枚選択する。
- ・選択した写真を共有フォルダに保存する。
- ・自分の伝えたいことを発表する時に、共有フォルダ内の自分の写真を大型提示装置で投影する。
- ・施設を見学した時の感想などを思い出しながら、聞いている仲間に分かるように発表する。

教師の指導のポイント

- 町探検のワークシートをもとに、「〇〇さんがみんなに一番伝えたいことは何かな？」と問いかけ、児童が自分の一番伝えたいこと（工夫していたこと、疑問に思ったことなど）を焦点化し、一番伝わる写真を1枚選択できるようにする。
- 3つの視点（すてきなくふう、はじめてしつた、どうして）のうち、どの視点について発表するのかを、児童に確認して発表するように促す。

ICT 端末の動画機能による効果



訪問先の職員の方に、どんな気持ちで働いているのかを取材した動画を視聴し、働く人の願いや思いを知る。

- ・大型提示装置に、取材した動画を映し出し、働く人の願いや思いを視聴する。
- ・働く人の願いや思いについて、繰り返し動画を視聴することで、どのような願いや思いで働いているのか気付けるようにする。

「〇〇さんが、そんなことを思っているんだ」と思いました。私は、まだ〇〇ホールには、2回しか行ったことがないので、また3回、4回と行きたいと思いました。また、行って分かったことなどをもっと見つけたいです。

教師の指導のポイント

- 事前にワークシートから、疑問に思っていることや、聞きたいことを読み取り、職員の方に低学年の児童が理解できるように、分かりやすい言葉、短い文章でインタビューに答えて頂くように依頼する。